

令和元年度

学力向上を図るための全体計画

- ・ 日本国憲法
- ・ 教育基本法
- ・ 学校教育法
- ・ 東京都、練馬区教育委員会
目標および指導の重点

- ### 学校教育目標
- 進んで学習する生徒
 - 進んで協力する生徒
 - 進んで心とからだを鍛える生徒

- ・ 学校、地域の実態
- ・ 地域、保護者の期待や
願い
- ・ 期待される生徒像

- ### 各教科の指導の重点
- 生徒一人一人が主体的に学
ぶ態度を身に付けるため
に、学習における基礎・基
本の徹底を図る。指導方法
や評価方法の工夫・改善に
努め、学力の向上を図る。
 - 補充的な学習や発展的な学
習等の機会を設けて、多様
な学習の機会を設定する。

本校では基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせ、その知識・技能を活用して、生徒自らが考え、判断し、表現する力を育む指導に力を入れる。学習意欲の向上を図り、「わかる喜び」「できた喜び」を実感できる学習活動を一層推進する。また、生徒が学習の見通しを立てたり振り返ったりする活動を積極的に取り入れる。さらに、「わかるまで教える」指導の充実を図るため、補充教室を行う。

学力の8つの要素

学ぶ意欲/学び方/思考力/判断力/表現力
課題発見能力/問題解決力/知識・技能

学習意欲が学力向上の基盤

<授業改善への取り組み>

- ① ICTを活用し、補充的な学習や発展的な学習による学習意欲の向上を図る。
- ② 授業改善推進プラン等に基づく授業研究、授業改善を推進する。
- ③ 補充学習などの学習の機会を充実させる。(上中未来塾：学校支援サポーターの活用)
- ④ 数学、英語で習熟度別少人数指導による個に応じた指導の充実を図る。
- ⑤ ユニバーサルデザインに基づく教室環境の整備を推進する。

- ### 道徳教育の指導の重点
- 教師と生徒の望ましい
人間関係を築き、道徳
の授業の改善・充実を
図る。
 - 生命を尊重し、思いや
りや感謝の心を育成す
る体験活動を生かした
道徳授業を実践する。
 - 道徳授業地区公開講座
を開催し、地域の人と
共に、道徳教育の在り
方を考える。

- ### 総合的な学習の時間の重点
- 「地域調べ」「生き方を考
える」「先人の生き方に学
ぶ」というテーマの基に、
自ら課題を見付け、主体的
に解決できる能力や資質を
育てる。また、地域の人と
の触れあいや地域を理解す
る活動を通して、生徒が主
体的に学習に取り組む教材
の開発や関係諸機関との連
携を強化する。

- ### 特別活動の指導の重点
- 学校行事や生徒会活動
等を通じ、豊かな人間
性や協調性、主体的に
学ぶ意欲や態度を育成
するとともに学校や学
級への所属感を養う。

- ### 進路指導の指導の重点
- 職場体験や上級学校訪問、
リトルティーチャー等を通
して、生徒一人一人の個性
や能力に応じた生き方指導
を行い、生徒が自らの生き
方を考え、自己実現を目指
すことができるようにする。

- ### 生活指導の指導の重点
- 安全を確保するための
実践力や基本的な生活
習慣の徹底を図る。
 - スクールカウンセラ
ー・心のふれあい相談
員との連携を密にし、
生徒の心の問題に早期
に気付き、素早く対応
できる体制を整える。

本校の学習意欲を向上させるための視点

指導内容・指導方法の工夫 (何を学ぶか)	教育課程編成上の工夫 (どのように学ぶか)	校内における研究や研修の工夫 (何ができるようになったか)	評価の工夫 (何ができるようになったか)	家庭や地域社会との連携の工夫 (地域に関く学び)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を向上させるための指導法の工夫・改善を図る。 ○ 課題改善カリキュラムにそって小中9年間の系統性を生かす指導を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業時数、指導内容の適正で確実な実施を確保する。 ○ 小中一貫教育を推進する。 ○ 放課後や長期休業中に補習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中合同研修会を実施する。 ○ 道徳、ユニバーサルデザイン、評価・評定に関する研修を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内評価委員会を中心に、組織的に高い精度を確保する。 ○ 生徒による授業評価を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域未来塾」や家庭学習の充実を図る。 ○ 独自の標語「あじみこし」を掲げ、健全育成を図る。